

伯東、協業先である株式会社みずほライスが「ノウフク・アワード 2025」にて表彰されました

伯東株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長執行役員：宮下環、証券コード 7433、以下 当社）の協業先であり、スマート農業に関する製品開発、市場開拓を支援いただいている株式会社みずほライス（本社：秋田県横手市、代表取締役社長 熊谷賢、以下 みずほライス）は、2026年1月28日（水）ノウフク連携コンソーシアムが主催する「ノウフク・アワード 2025」にて表彰されました。



当社はみずほライスが要望する AI 機器開発パートナーとして開発した椎茸粗選別機を実証試験機として提供しており、今回はアワード獲得パートナーとして表彰式に参加しました。みずほライスは施設外就労等で障害者を受け入れ、AI を活用しながら工賃の向上を実践し、ICT 業界と農業界を繋ぐ農工福連携の実現に取り組んでおります。当社はみずほライスが要望する AI 機器開発パートナーとして椎茸粗選別機を開発し、実証試験機として提供しております。

○ 椎茸粗選別機

○ 表彰式の受賞模様



ノウフク・アワードとは

ノウフク・アワードとは、ノウフク（農福連携等）の取り組みを、表彰を通じて実践者を応援し、その価値を多くの人に知ってもらい、地域社会に根付かせるためのアワードです。

○ ノウフク・アワードアンバサダー城島茂氏との写真撮影の様子



伯東株式会社における障害者雇用についての取り組み

当社では伊勢原事業所(神奈川県伊勢原市)において、20年以上に亘り、障害者雇用を積極的に推進し、現在11名の障害者社員が不要段ボールをリサイクル利用した梱包緩衝材の製造業務や同事業所内の清掃等の環境整備業務に従事しております。

また、農福連携の一環として、2023年より同事業所内に完全人工光型野菜栽培装置を新たに導入し、障害者社員による水耕レタスの栽培を開始しております。本設備は季節や天候の影響を受けずに、安定した品質で計画的な野菜栽培が可能な植物工場で、収穫したレタスは、伊勢原市社会福祉協議会様への寄付や、健康経営の一環(野菜の摂取)として社員への提供並びに、地元業者への販売をしております。今後とも、障害者の働きがいの向上や自立を促す取り組みを通して、SDGs活動を推進してまいります。

○ 伊勢原事業所でのレタス栽培の様子



伯東株式会社

<https://www.hakuto.co.jp>

伯東は1953年の創業以来、最新の情報や最先端の技術をいち早くお客様へお届けする技術商社として、生産の効率化を図る工業薬品を生み出すメーカーとして、皆様のご愛顧とご支援により順調な発展を遂げてまいりました。

伯東は、「人と技術で広く世界を結ぶ」をモットーとし、先進のテクノロジーで産業社会の未来を切り拓くため、最適なソリューションを提供してまいります。また、エレクトロニクス×ケミカル領域、商社×メーカーのハイブリッド企業としてのシナジーを発揮し、独自の価値を創出してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

ビジネスインキュベーションセンター
イノベーション推進部

E-Mail : Marketing@hakuto.co.jp
